



## 生徒に残してあげられるもの

メインイベントかしわ祭「合唱コンクール」の中止及び「体育の部」の計画変更……。9月中旬、実行委員と職員が悩みに悩み、断腸の思いで決断を下しました。昨年度来の修学旅行や中体連の中止の記憶が重なります。新型コロナウイルスの猛威に、様々な挑戦機会が奪われてきました。一つ一つの学びの機会の喪失に対し、

——生徒は何をもって納得し、終わることができるのか——

この答えは大人が与えたり示したりできるものではなく、生徒自身が自分の内に見出すしかないものです。大仁中は、そこを全面的に支援してきました。

学校に目的のない教育活動はありません。行事には、それを通してどういう学びを深めるか、どういう姿になることを期待するか、という目的が必ずあります。今年のかしわ祭では、

- ・生徒が主体となって達成感を抱ける行事をつくる
- ・学級や縦割の一員としての自覚をもち、集団に貢献しようとする態度を育てる
- ・自分の役割を自覚し、適切に判断し行動する生徒を育成する

という3つの目的を設定し、生徒自ら次の3つの目標を立てました。

- ・練習から全力で取り組む
- ・結果ではなく、過程を大事にする
- ・誰もが協力し、楽しむ

今回の体育の部を通して、流されて生きないことの大切さを感じた生徒も少なくないのではないかと私は考えています。こと3年生にとって、中学校生活最後のかしわ祭の終わらせ方は考えざるをえない問題だったはずですが、そこで生徒が考えたのが、体育の部前日の新企画（オープニングムービー・モザイクアート披露・全校レクリエーション・バルーンリリース）でした。かしわ祭との向き合い方を自分の頭で考え、付加価値を創造しました。体育の部の種目内容については、緊急事態宣言を受けて感染症対策に耐えうるように調整し、最終的に当日の形となりました。学年種目を削るという異例のプログラムとなったわけですが、練習過程から本番まで、生徒は健気に目標の実現を目指しました。とりわけ、3年生はこれまでに培ったリーダーシップを、1・2年生はフォロアーシップを存分に発揮したと言ってよいのではないかと思います。

生徒は、敷かれたレールを走るのではなく、自ら敷いたレールの上を走りました。自立した行動ができたという事実は、難局を乗り越える力となっていくと信じています。私たちが生徒に残してあげられるものは、そういう機会の確保と生徒の考えの尊重、そしてそっと背中を押してあげることから生まれるものだと思います。 <文責：校長>

## ☆「かしわ祭」を終えて スローガン「闘志を燃やせ 我らが主人公」

生徒アンケートを実施しました。今できることを精一杯やった充実感が感じられる結果です。保護者の皆様には、行事实施に向けてのご理解とご支援ありがとうございました。

|   | 「生徒アンケート」項目           | 肯定的な回答の割合 |
|---|-----------------------|-----------|
| ① | 練習から全力で取り組んだ          | 90.0%     |
| ② | 係の仕事や競技の練習等に進んで取り組んだ  | 89.7%     |
| ③ | 集団としてのルールを守って参加した     | 90.7%     |
| ④ | 縦割りグループや学級で団結できた      | 89.4%     |
| ⑤ | 大中生の誰もが協力し、楽しめる行事となった | 89.7%     |



一人一人が「主人公」！



思い切り楽しみました！



## ☆感染症拡大防止に係る出欠席について

これまでは、「同居家族に風邪症状がある生徒は自宅で休養する（出席停止）」という対応をとってきましたが、今回、警戒レベルが引き下げられたことを受け、出席を可能とします。状況をふまえて、各家庭で出欠席をご判断ください。なお、今後また感染の再拡大につながることはないよう、感染防止の対策は引き続きお願いいたします。

## ☆11月9日（火）10日（水）の日課について

大仁中では、昨年度より英語科を中心に「コミュニケーション力を高める授業研究」を進めてきました。いよいよ11月9日に公開授業研修会が行われます。また、11月10日には、田方地区における研修会が実施されます。そのため、両日とも給食がありません。保護者の皆様には、お手数をおかけしますが、対応をお願いいたします。

11月 9日（火）

\*授業公開をする学級（1年1組、2年4組、3年3組）の生徒は、  
弁当持参。5時間授業 14:25下校

\*その他の生徒は、3時間授業 11:40下校 ※12:10臨時バス（大仁小）

11月10日（水）

\*3時間授業 11:40下校 ※12:10臨時バス（大仁小）

